

平成20年11月5日

秋田中央交通株式会社

バス事業の基本方針について

「企業の使命を自覚し、安全な輸送を通じて、社会の信頼に応える」理念のもとに

1. 安全の確保が最重要課題であり、運輸の安全マネジメントに基づき改善を図りグリーン経営を進め安全・安心で環境にやさしい交通をめざす。
2. 路線バスあるいは代替交通は街づくりの核として必要不可欠であり、市との緊密な連携のもとに、路線統合によるスケールメリットを生かし負担軽減を図りまた、市の単独補助制度も活用し、市内中心部を主体に維持する。

現状は、路線バス部門は補助金を入れても赤字であり、負担軽減を図ることが経営上の課題である。少子高齢化、車社会の進展による利用者の減少と補助金の赤字額の4分の1事業者負担が要因である。

事業者負担が、これまでになく経営状況を圧迫しており、燃料費の高騰などから運行経費削減も限界に近く、現状の運行形態を維持していくことは、きわめて困難な状態にある。

(1) 秋田市南部、東部の委託運行については、市の方針に基づき進める。

(2) 県の補助制度改正については、これを契機として地域交通をよりよいものに変えていくことが重要であり、市と協議の上当社が出来ることがあれば関わっていきたい。路線廃止がマイナスなイメージだけではなく新たに地域の実情に根ざした地域交通網を作る上で必要なきっかけととらえ、市の方針に基づき関係者と協議していく。

以上